

倉敷市実践型

KURASHIKI
INTERNSHIP
GUIDE

インターンシップ

大学生と経営者の夢への挑戦！

活用ガイド

実践型インターンシップとは

CASE1 株式会社創心會 (オンライン混合インターンシップ)

CASE2 Liv.Colour (オンライン混合インターンシップ)

CASE3 社会福祉法人リンク (オンライン混合インターンシップ)

2021



倉敷市実践型インターンシップとは

大学生と経営者は「期間限定」プロジェクトメンバー！

実践型インターンシップは、「経営者が本当にやってみたい」「試してみたいけれど、まだ手を付けられていない」プロジェクトを若者と共に一定期間試してみるプログラムです。学生が1ヶ月から6ヶ月程度の長期にわたり、倉敷市内の企業で新規事業の企画立案・実施、課題の解決などに携わります。若者と共に、企業にとっての新たなチャレンジに取り組むきっかけとして、ご活用ください。

取り組みたいが、手が付けられていないことがある！



現場で学び、自分を試したい！

インターンシップの種類

期間	内容	社内の位置付け	学生への期待	受入側の目的	主な受入先
採用直結型	業務見学・座学 シャドウイング	就活生	職場への理解	採用活動	大手企業、専門事務所 行政が中心 (人事部が窓口)
業務補助型	業務体験	研修生 (見習い)	学生ならではの意見	社会貢献、採用活動	大手企業 行政が中心 (人事部が窓口)
今回のプロジェクト 長期実践型 インターンシップ	課題発見・解決 業務遂行 プロジェクト マネジメント	プロジェクト スタッフ	プロジェクトの成功 特定の役割の遂行	新たなチャレンジ(変革) 経営課題の解決 組織活性	ベンチャー・中小企業 NPO等 (経営者や事業責任者が 直接窓口になる傾向)

受入プログラムのテーマ例

1. 現状分析リサーチ

- ・立ち上げを考えている事業のマーケティングリサーチ
- ・自社の商品、サービス、システムなどの現状と改善点をレポート
→自社の現状を確認
→改善の手がかりをつかむ
- ・自社の組織課題に関するリサーチと課題解決に繋がる企画立案

社内ヒアリング

自社商品やテーマに関して、社内の意識や理解を把握する

社外ヒアリング

自社商品が社外(市場)で、どれだけ理解されているかを把握する

2. プロモーションツール作成

- ・新たに立ち上げる事業のプロモーションツールの作成
事例や顧客の声をまとめる(取材→ヒアリング→文章化)
- ・今ある商品やサービスについて、外部の目線でのツール作成・改善
- ・新卒採用のツール制作
リーフレットなどを学生の視点を踏まえて、企画・制作



企画制作した広報誌

3. 新規事業プロジェクトの設計

- ・地域課題や自社のリソースを意識した新規事業の素案づくりをするための調査・企画立案



社会復帰したい利用者の方のための仕事づくり



カラーオンラインスクールの立ち上げ



「福祉のオシゴト」魅力発信

インターン参加企業と学生の声

経営課題である「高齢者や障がいのある方の社会復帰の機会創出」に取り組みたい

CASE1 株式会社 創心會 (オンライン混合インターンシップ)

新規事業プロジェクトの設計

事業内容

住み慣れた地域(在宅)での暮らしのための自立への働きかけ(子ども支援、障がい者支援、介護・介護予防、まちづくり)

参加した理由とプロジェクトの概要

長期実践型の受入にチャレンジしたく参加しました。リハビリ・ケアを提供することで、働く意欲と自信が湧いた利用者の方々への機会創出が課題でした。そこで、利用者の方や当社の各部門スタッフへのヒアリングを通して、新規事業の企画提案に取り組んでもらいました。

担当者の声



取締役 田中真允さん

若い柔軟な提案をしてくれました。インターン生の提案を受けて、関係部署の動きが活性化したり、既存・新設の事業所で、まず取り組めることを準備しています。

プロジェクト

社会復帰したい利用者の方のための仕事づくり

インターン生の声

京都大学3年(当時) 緒方 滉介さん

高齢者の就労支援に関心があり、参加しました。現場で利用者の方が喜んでる姿に触れて、働く際は、現場に近い距離で、色々な人と話しながら仕事をしてみたいと感じました。

お茶の水女子大学2年(当時) 葛馬 祐希さん

コロナ過でリアルな経験ができない中、高齢者の自立・自由に関心があり、参加しました。サービスを持続・発展させるために、利益の創出の重要性を学ばせてもらいました。

カラーオンラインスクールを立ち上げたい

CASE2 Liv.Colour (オンライン混合インターンシップ)

プロモーションツール作成

事業内容

「色彩の力で心地いい時間を増やす」ための店舗デザイン・ブランディング、住宅のカラーコーディネート等

参加した理由とプロジェクトの概要

スタッフの雇用に向けて、準備したいと参加しました。色彩の力を広めるには、当社だけでは限界があります。そこで、カラーオンラインスクールを立ち上げ、人材育成に取り組むべく、今回はスクールの企画とプロモーション動画制作にインターン生とともに取り組みました。

担当者の声



代表 浅野 直子さん

初めての受入で不安でしたが、頼りになる学生の方に来てもらえました。雇用し、事業の拡大を考える中、「チームワーク」を工夫・実践し、チームの力を体験させてもらいました。

プロジェクト

カラーオンラインスクールの立ち上げ

インターン生の声

創価大学3年(当時) 伊藤 清美さん

アートやデザインの仕事に関心があり、参加しました。実践的な経験を通じて「色彩のもつ力」を感じるとともに、改めて、アートが好きだと実感することができました。

大阪国際大学3年(当時) 平谷 幸智慧さん

大学でも学んでいる「色彩の持つ力」に興味があり参加しました。「働く」=「商品を売り、利益を得る」というイメージでしたが、その中でも「やりたいこと」や「やりがい」が重要だと考えるようになりました。

「福祉の魅力」を発信したい

CASE3 社会福祉法人 リンク (オンライン混合インターンシップ)

プロモーションツール作成

事業内容

「誰もが住み慣れた地域で当たり前の暮らし」を実現する児童発達支援事業や相談支援事業等

参加した理由とプロジェクトの概要

大学の福祉課程の定員減等、福祉を担う人材確保が課題になっています。そのような中、当法人の職員的情熱・想い、仕事の魅力を発信し、社内外に「福祉の魅力」を伝えるべく、スタッフへの取材・インタビューを通して、広報誌と社内報の制作に取り組んでもらいました。

担当者の声



理事長 永田 拓さん

想像以上にいい冊子が出来ました。福祉を専攻していない学生を受け入れ、「福祉」以外の視点で感じたことを聞け、「そう思うんだ!」と我々としても気づきや学びとなりました。

プロジェクト

「福祉のオシゴト」魅力発信

インターン生の声

関西学院大学3年(当時) 坂本 大河さん

「地元である岡山に貢献したい」、「福祉を知りたい」と思い、参加しました。インタビューを通じて、利用者の方のために働くだけでなく、地域のとの繋がりにも力を入れていると福祉のイメージが変わりました。

明治大学2年(当時) 田村 小春さん

「福祉でのまちづくり」に関心があり、参加しました。インターネットでは「明日仕事行きたくない」という声が多いですが、「この仕事が楽しい、好きだ」という声を沢山聞いて、自分もこうありたいと感じました。



参加までの流れ

企業

事前準備

プロジェクト設計

受入企業とコーディネーター機関で、企業にとって本気で試してみたいこと、学生にとっても共感してチャレンジしたいと思えることを明らかにして、プロジェクトの目標・内容を設計。

学生募集・マッチング

設計したプロジェクトをもとに、コーディネーター機関が、学生向けの募集要項を作成し、WEB上で公開。その他、学生向けイベント等にて参加学生を募集。

学生とコーディネーター機関の間で個別面談をし、プロジェクトの説明や、学生の意向確認・すり合わせを実施。

その後、企業との面接にて、最終的な合否を決定。

受入準備

インターン開始にあたって、社内体制の契約書類作成、保険加入の手続きを実施。

インターン実施

個別面談・合同研修

学生に対しては、コーディネーター機関も個別面談や研修実施でフォロー。また、プロジェクト実施で、気になることは随時コーディネーターに相談できます。

終了・振り返り

振り返り

最終報告会を通じて、合同で学生、企業、コーディネーター機関で振り返る機会があります。他社の取り組みや気づきを学ぶとともに、他の企業やインターン生から自社の取り組みに意見をもらうことができます。

Q&A

うちは法人向けビジネスで、どんなプログラムをしたらよいか分からない。

プログラムの内容については、コーディネーターと相談しながら決定しますので、まずは相談してみてください。社内の課題解決をプログラムにすることもできますよ。

学生

インターン応募

WEB やイベントで参加申込

興味のあるプログラムへコーディネーター機関を通じてエントリー

個別面談（コーディネーター機関）

コーディネーターと面談。現在の関心や将来取り組みたい事、自身の強みを話したりする中で、エントリーしたプログラムをどう活かすか、どう貢献するかという点を深めます。

個別面談（希望する企業）

お互いが目指すゴールを確認します。プログラムについて聞きたい事は質問しましょう。

合否

インターン期間

オリエンテーション（合同）

中間振り返り

各プロジェクトで、コーディネーターとともに、当初の目標に対して、企業と学生で振り返る機会があります。また、コーディネーターが随時、フォローしてくれます。

終了・振り返り

最終報告会

今までの学びを振り返り、アウトプットします。他の企業担当者やインターン生からも意見をもらうことができる機会です。

Q&A

参加する場合、どのような費用がかかるのでしょうか？

参加費は無料です。自宅から参加する企業までの交通費と宿泊費が必要です。企業によっては補助がある場合があります。また、宿泊については、倉敷市の「お試し住宅」の利用も可能です。

<https://iju-kurashiki-gurashi.jp/support-info/trial-housing>

なお、新型コロナウイルスの感染状況等によって、オンラインでの実施の場合もあります。